# 旧佐川邸の公園化を考える会 議事録

令和2年12月13日13時00分～16時00分＠上水南公民館

出席者：15名（敬称略）

設計事務所　S、S

小平市議：竹井、橋本、水口、安竹（氏名順）

記・安竹

当日配布資料：特になし

頂いた資料：ご講演の資料「公園プランを考える」PDF

設計事務所のS氏とS氏が前回に引き続いてコンセプトの原案をご検討くださり、ご提案をお持ちくださいました。実際に合気の体験もされたとのことです。

## **公園プランを考える**

＊資料に掲載がない部分について記します。

（S氏の説明と他の参加者の発言を区別せずに記載している部分もあります。）

### 防災機能について

防災機能を考える場合、金銭的な問題もあり、どこまで機能を持たせるかという観点で考える。

資料で挙げた大阪の例は、広さが約300㎡で小さいにもかかわらず防災設備を作っている。これは木造密集地域で、火災の可能性が高いエリアのため。日常的には、訓練や災害の啓もう活動をする場所でもある。普段から地域の人々の活動の場として使われていれば、いざというときに、一時的に避難し、安否確認するなどの場所として認知される。都内は不燃化の建物づくりをしているものの、火災が発生した場合には小さな公園に避難して滞在すると危険なので、最初に避難して安否確認をするような場所。一番小さい公園の例は250㎡ほど。

Q: 小平市に防災公園はあるか。

A（議員）: ない。一人会派の会の伊藤央議員が9月の定例会で「鷹の台公園を防災公園にしてほしい」という一般質問を行い、市としては必要性を認識しているという答弁だった。

Q: 防災公園は国や都からの補助金は出るか。

A（議員）: 国からの支援の対象となるようだ。面積や機能など要件等の詳細は不明なので調べる必要がある。

### 合気公園に関する近隣住民の意見について

市民農園を設けるという提案について。小平市の鎌倉公園の素案には市民農園が入っている。鎌倉公園でできるなら、こちらでもできるかもしれない。ただ、緑化推進委員会では、委員長の意見として、市民農園は抽選（受益者が偏るなど）や管理の問題で課題がある、ということだった。たしかに市民農園は、それぞれの人によって在り方が変わってくるので、町の景観としてどうなのという点は懸念事項。セミナーを行うなど、景観を損なわないような市民農園としていくような仕組みも必要になる。

自販機について。地域の公園の維持管理費をいかに出していくかは課題になるので、そこに自販機などを組み込むのは一つの手。自販機で上がった収益を管理に回せるような仕組みになっていれば、うまく動く可能性も高い。災害時は無料で飲料を提供するなど、災害時に役立てる自販機といったものを売りにすることもできる。周辺住民の迷惑にならないよう音が出ないタイプもある。

Q: 住民の意見では木を残してほしいという話だったのに、木は切られてしまったのか。

A（道場関係者）: 解体工事の前に、切らないでほしいという署名を集めて市に提出していたが、あれだけ切られてしまった。管理費の予算が年間5万円しかないのでということも理由の一つだった。一本ずつ「これは病気」「これは枯れている」など市民も交えての説明があった。しかし、切らない予定だったものも切られてしまった。間違って倒したと言っていたものもある。市の体質として、住民の言うことは受け付けず自分たちの計画を押し通すというものがあると感じる。もらったものはこっちのものだと、住民の意見を聞かないで進めるところがある。

道路について、通り抜けの部分は、バリアフリー対応など歩きやすい道をどこかに作ることを考えることは大事。

### 公園コンセプト（案）

・佐川先生の思想に「自分で考える」ということがあるので、遊具等は置かず、子ども達が、考えて遊びを見つけるスペースであること。

### 公園プランについて

安全性については防犯というワードも必要かと。具体案はまた別途。

### その他

（道場関係者）この会のチラシを毎回配っているが、もうあまり効果がないので、公園の前を通る人に見えるよう看板を立てる、回覧板を回してもらう、学校付近で子ども達にも配るなどもどうか。

学校は遠くにあり、効率が良くないこともある。このあたりだけの人を呼びたい。遠くの人を呼んでも仕方がない部分がある。

現在はチラシが非公式の形で来ているので、受け取った人も、これはなんだろうとなる。

（市議）長い間、市民が話し会うことを容認して、計画をストップすることは市としても異例。土地の一部を売却する・しないを決断する期間をいつまでと決めてやるのがいいのではないか。そこから、売却したときの絵をもって、地域の住民に話を聞く必要があるのでは。

（道場関係者）アンケートを出したところで門前払いのようなところもあると思う。もし市に提案しても門前払いにならないとしても、そのことを住民の方にも知ってもらわないと。前回署名で出しても結局木は切られてしまっているので、住民の方はあきらめているところもあるのではないか。

一つは自治会もある。自治会の集まりの状況は、コロナ禍で4月から会合がなかった。9月～11月はある。12月はコロナで中止になり、来月は会合がない。会合はないが、回覧板に挟むことはできる。1地区30世帯くらい、15地区あるうちの3～４地区が関わっている。3～４地区の会長を集めて、そういう話を出す。投函されているものより、自治会から回ってきたということは信頼性も高いため、参加してもらえる可能性があがる。

コロナの影響で、1月は会報を受け取ってもらうだけにしている。

各家庭に配っているのは、集団回収のチラシもあるので、それと一緒に回収すればよい。1月9日に回覧の配布をする。データについては明日打ち合わせる。回収が大変なのではと言われる可能性もある。

地区長会が毎月第一土曜日にある。1月9日はこの部屋まで地区長が来るが、話さないように、資料を配布するだけ。半径250ｍが関係する世帯と考えられる。

3～4地区以外の方には、配るだけでよいかと。3～4地区の人たちからは回収できれば。回覧板に、記載したものを回収する袋をつけておけばよい。アンケートに個人名は必要ない。最低限、何地区、何組というところを記入してもらえればよい。趣旨を説明するもの。一枚の半分くらいのもの。

Q: 国分寺市にもポスティングしていいか。

A:（市議） 整備するのは小平市だが、利用者は国分寺の人もいるのでよいと思う。

（道場関係者）ふるさと納税については、以前市に聞いたところ、小平駅前のブルベーモニュメントのクラウドファンディングは「仮に全く集まらなくても市が全額負担して建てる」という前提でやっていたので、必要費用の調達をふるさと納税に頼ることはできない、といった説明だった。

旧佐川邸公園の整備が最低限3千万あればできるという話であれば、ふるさと納税が使えれば道場側で2年間で3千万円集まるといった話ができれば進むかもしれないというイメージがある。

公園の案として二案くらい作ってもらえると助かる

・理想的な案

・最低限の整備案

どちらも、金額がいくらになるか作っていただけたら。

作るのは簡単だが、地域の住民と合意形成ができているか。たとえばプライバシーのところで、どこまで必要になるか。それを無視して、コストを削ってのプランは立てられるが、佐川氏の思いなどを考えると、利用者目線で考えた際にどうかという気がする。

（市議）そうした点をふところとして持っておき、そこでプランを作っていく。活用されないと意味がない。アンケートが返ってきて、ニーズが文書として明確に手元に残っている必要がある。そうでなければ市も動けない。まず最低ラインの素案を作って、それにイエス・ノーの裏付けをしていく。

Q: どれくらいの数の方の意見を聞けばよいか。

A: 新しい世帯も入ってきているので、若い世帯の人たちもいる。多様な世代の人々に意見をうかがう。周辺の方々にまんべんなく聞いていく。

アンケートをする場合は、どういう意図があって、どういうプランがあって、ということを伝える必要がある。近隣の人の意見は別枠として重視する必要がある

スケジュールについて。年明けの1月にはプラン・アンケートのたたき台を作り、それをもって周辺住民の方に意見を徴収し、春以降に市へ提案していければ良い。市長選が4月4日にあり、それにむけて候補者にもアピールできれば。来年には、去年執行しなかった設計の予算600万円を入れてほしい、といった話をできるように。

アフターコロナというところでも進めていければ。手洗いができる場所など。

### 井戸について

市としては公園に井戸を作る予定はない。市民が寄付して公園に井戸を作っても、必要性がないし、維持費がかかるので寄付は受け付けないという反応だった。公園に占有許可を取って井戸をつくることについては可能性がある、今後具体的に詰めましょうという話になったが、その後、国土交通省の都市公園法を調べたら、市民が占有許可を取って作る点には制約があり、井戸というものは入っていない、防火用貯水槽で地下に設けられるもの、水道施設、下水道施設、河川管理などは市民がお金を出して占有許可を取ればできる、ただし井戸という文言がないからダメだという話だった。国交省に電話して、井戸はここに入っていないかを確認したところ、調べるとのことだった。返答はまだ来ていない。その返答をまって、もし国交省で許可が出るのであれば、占有許可をとってクラウドファンディングで作りたい。返事がなければ、小平市にいる国会議員2人のどちらかに依頼して、直接国交省に確認してもらう。

旧佐川邸の前を通った人が「ここどうなっちゃうのかね」といった話がある。

アンケートもそうだが、定期的に活動をしていることを知ってもらえれば。微に入り、細に入り、は雑音になってしまうので、アンケートしたくなるような内容で。

## **宿題**

・自治会の回覧板にチラシを載せてもらうことを検討する（今後、各世帯アンケートの回収も）

・趣旨説明とアンケートを用意する（S氏とのやり取りで）

・資料の概要版等を載せるサイトのひな形を作る（安竹）

→こちらにたたき台サイトを作成しました。ドメイン（アドレス）は別途とっても良いと思います。

<https://sagawa-park.yasu.tk/>

・防災公園としての補助金は出るのか再確認（安竹）

→『身近な防災活動拠点の機能を有する都市公園』に該当すると思われます。担当課に確認します。

・公園についてどれくらいの予算を考えているか担当課に確認する（竹井）

・市長選の候補者に頭出しする（竹井）

## **次回**

1月17日（日）10:00～12:00

＊趣旨説明とアンケートのたたき台を確認する